

令和7年3月議会定例会は、2月28日から3月14日までの日程で開かれました。一般質問は3月3日・4日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。議案審議は14日に行われ、提出された議案はすべて原案どおり可決されました。



今議会で可決された議案など

紙面の都合上、一部省略しています

令和6年度 一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ10億7241万2千円減額し、総額133億1805万1千円とする。

令和7年度 一般会計予算

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ11億5500万円と定める。

令和7年度 国民健康保険特別会計予算

令和7年度 介護保険特別会計予算

令和7年度 後期高齢者医療特別会計予算

令和7年度 簡易水道事業会計予算

令和7年度 農業集落排水事業会計予算

飯館村農業施設等維持管理基金条例

飯館村商業施設設置条例

飯館村税条例の一部を改正する条例

飯館村水道条例の一部を改正する条例

佐須辺地に係る総合整備計画の策定について

比曾・岩部辺地に係る総合整備計画の策定について

村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

飯館村教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて

監査委員の選任につき同意を求めることについて

固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

村長村政報告

紙面の都合上、一部省略しています

避難指示未解除区域の一部解除

村内で帰還困難区域として未解除区域が残る長泥地区のうち、曲田地区の一部について、2月24日に国、県と協議を行い、令和7年3月31日に避難指示を解除することで合意しました。なお、国、県との協議では、土地利用スキームによる避難指示解除に向けて必須となる三つの要件について、「①環境整備」はその完了を確認したこと、長泥行政区の方々と村議会への説明を通じて「②住民のご理解とご了承」をいただいたこと、飯館村環境回復検討委員会にて国の避難指示解除の基準である「③年間20ミリシールドを十分下回る」という検証結果をいただいたことを報告しています。

今後も引き続き国がしっかりと最後まで責任をもって取り組むと共に、復興に向けた支援を継続するよう強く要望しました。

物価高騰対応重点支援給付金

基準日の令和6年12月13日時点で、村に住民登録がある令和6年度住民税非課税世帯に対し、それぞれ3万6000円の給付金及び子ども1人当たり2万円の加算金について、2月下旬より給付を開始しました。

村民の帰還状況

2月1日現在の帰還者は627世帯、1178人で帰還率は約26.2%です。これに転入者275人と、いいたてホームの入所者等を含め、村内の居住者は806世帯、1511人です。避難を継続している方は、県外に142人、県内は福島市に1875人、南相馬市に264人、伊達市に232人、川俣町に209人、相馬市に115人など、合わせて2839人です。

子育て応援支援金について

村の次世代を担う子ども達と、子育て世帯を力強く支援する飯館村独自の施策「子育て応援支援金」について、1月15日に令和7年度の小学校入学児童17名、中

学校入学生徒並びにいたて希望の里学園7年生進級29名、高等学校入学30名、合計76名に総額1060万円を支給しています。

あぶくまもちについて

昨年食用に収穫された約34tの「あぶくまもち」のうち約33tが、今年も株式会社セブンイレブン・ジャパンのご協力のもと、おこわおむすび2商品に加工され、村内ほか中通りを中心にセブンイレブン各店舗で販売されています。村としては来年度以降もさらに生産量の増加を目指し、村の特産品としての「あぶくまもち」生産を進めていきます。

農地中間管理事業について

令和6年度の実績は12月末現在で4行政区57haの集積となりました。これにより、全体の集積面積は12行政区569haとなりました。令和7年度は地域集積協力金等の制度が期限を迎えるので、可能な限り有利な条件で集積ができるよう、地権者、担い手、行政区と協議を進めていきます。

ふくしま森林再生事業

林業の活性化を図るため、間伐等の森林整備とその実施のための放射性物質対策を行う「ふくしま森林再生事業」について、今年度1月末現在、佐須地区及び深谷地区において約37haの森林整備事業を発注しています。

併せて広葉樹林の再生を目的とした広葉樹林再生事業では、伊丹沢地区、宮内地区等において約28haの森林整備事業を発注しています。

建設関係

簡易水道について、空気弁や仕切弁周辺の道路の段差解消のため12か所の修繕を行いました。また、農業集落排水のマンホール周辺の段差においても、11か所の修繕を行いました。引き続きマンホール等の段差については修繕を行い、通行の安全確保に努めていきます。

河川の除草事業について、村で管理している普通河川17路線、延長18.3kmにおいて、河川の除草作業が完了しています。

教育関係

営農再開支援水利施設等保全事業による、ため池施設の補修工事について16か所、農業水利施設等保全再生事業による放射性物質対策工事は13か所のため池について、年度内に完成する予定となっています。

農業基盤整備促進事業については、村内15行政区において進めています。このうち農業基盤整備促進事業の測量設計業務における6件の委託については、年度内に完了する予定となっています。村独自の教科である「いいたて学」について、今年度も村民の皆様のご協力を得ながら、村の産業や文化を学び、学習発表会での太鼓の演奏、田植え踊りの発表、また後期課程においては学習内容をまとめて冊子にしました。また、2月19日に6年ぶりの開催となった「子ども議会」において、4年生が傍聴する中、5、6年生が学習した成果を発表し、議会で中継システムを通じて、村内外に向けて発信しました。